２０２６年９月号-２

伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

あさがお

～多様な主体性を涵養する教育～



今月は、気温差が大きい日があったり、夏の疲れが出たりして、体調を崩すお子さんの姿も見られました。園生活においては、一人ひとりの体調管理を大切にしながら、丁寧にかかわっています。これまでは教師からの声掛けが中心でしたが、最近では子どもたち自身が「眠たくなってきた。」「疲れてきた。」と、自分の体の変化を言葉で表現できるようになってきました。そうした成長も大変頼もしく感じております。今後は、自分だけでなくお友だちの体調の変化にも気を配れるよう、発育測定や養護教諭による保健指導などを通して、体の仕組みや季節の変化に興味を持てるよう促してまいります。

互いの思いを伝えあい、楽しさや喜びを共有し、心地のよいつながりをつくる
～自ら選んでする遊びの深まりを目指して～





高さ・長さ・形に
興味関心をもつ

『５歳児』

５歳児は、遊びの深まりも見られるようになりました。写真は、カプラ（積み木）で遊んでいる様子です。どのように積んだらバランスよく積みあがるか、その高さや長さはどうかなど、いろいろな視点が増えてきました。「ここに置くのはどう？」「そうだね、やってみよう。」など会話も豊富です。テープを持ってきて長さを比較する姿も見られました。



「電車通ります。」



『４歳児』

４歳児は、気のあう友だちも増えてきました。生活の身近にある乗り物を中心に段ボールや衣装を用意しました。子どもたちは、身近な環境にかかわりながら友だちとイメージを共有して電車ごっこなどの見立て遊びを楽しんでいます。遊ぶ楽しさの共有から他者とのつながりの深まりも芽生えてきました。



「出発進行～！」



『３歳児』

３歳児は、初めての夏休みを経験して、お家の人と夏ならではの経験をしました。２学期に入ると、すっかり園生活に慣れて幼稚園の仲間らしくなってきました。気のあう友だちができたり、好きな遊びを見つけたりして園生活を楽しめるようになりました。友だち、先生と遊ぶことが大好きな年少組さんの毎日のワクワク感を大切にしてかかわっていきたいと思います。

地域の人とつながりをもち、園生活をより豊かにする
～職場体験・教育実習を通して～

「一緒に遊ぼう。」





現在、園には多様な地域の方々が訪れ、子どもたちと交流を行っています。職場体験に来た中学生や、幼児教育を学ぶ教育実習の大学生など、様々なお兄さん・お姉さんと一緒に過ごす時間を楽しんでいます。子どもたちは安心できる環境の中で、自分から「一緒に遊ぼう！」と元気に声を掛け、親しみを持ってコミュニケーションを深めています。園としても、子どもたちの興味関心を理解する貴重な学びの機会となるよう準備を行って受け入れています。
こうした出会いを通して、人とつながる心地よさを感じてほしいと考えています。

保護者アンケートよりいただいたメッセージ紹介
～家庭・地域・園がつながり育ちあう～

保護者アンケートでは多数のメッセージを頂戴しています。少しずつ紹介させていただきます。

いつも子どもたちのことを一番に考えていただきありがとうございます。先生方やお友達のおかげで幼稚園が楽しいとにこにこ笑顔で登園できるようになり安心しています。お迎えの際に先生からお話を伺えるのをいつも楽しみにしております。参観では、普段では見られない園での成長した姿を見ることができ、とても感動しました。

幼稚園生活を通して、たくさんの成長を感じています。
苦手だった野菜もみんなで育てた野菜を使ったカレーをきっかけに、「食べてみたい」と思えるようになり、今では食べられる野菜が増えました。
また、自分から荷物を持って歩いて登園できるようになり、家でも成長を感じています。さらに、私が疲れている時には、「大丈夫？」と声をかけてくれるなど、周りの人を思いやる優しさも育ちました。先生方があたたかく見守り、さまざまな経験をさせてくださったおかげだと感謝しています。

１学期の振り返りを生かしながら、２学期も過ごしてまいります。目指す姿に向けて、職員一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

～9月あさがおイラスト～
他者への挨拶を大切にする
りこさん

文責 まつなが あい